

問題
博士
町館

朝鮮は二度目これから日本見物
我輩の支那帝政論は支那文に

翻譯される間に頗る誤り傳へられた

掌に握手をて再び車室に引込む
 本國領事が送つた草花を受け乍ら欣
 然として九時十分南大門を去つた
 思へども……た
 出つた……歸つて退治する——
 解剖して骨髄を共進
 京都府北警察部長談

三郡に最も被害多く重慶義城尙州等郡にも可なりあつた

歌を唄ひながら、**永城市**中を練り歩き、最後に會場に練り入る。我々も手筈になつて居る。そのうち第一である昨今は魚の能く集まる小潮時であるから五日の日曜は賑ふ事であらう。釣の場所は、**月尾島**の周圍から**永宗島**の方に掛けて、何んでも釣れるが、鰻專の釣手は**虎島**の方に能く出掛ける。寶藏の清涼たる日本風の建物を倒壊する池に沿つてそそ歩く時、輕速に彼方此方に白き氣高き姿を浮べた、**白楊**の林の中を透達する、**松葉**を蹴つて飛び出す雀の群を、どこへ行つても夥然した秋の氣分を感じて穿つてゐる。

金儲之霸
 五六二話電目丁四町金黃城京
護出之日
 商護護出之日
 ●弊會發案の正式タイヤ修繕織機は從來内地等にも在
 關の弊會織機の大量異大改良良大無及の最新式織機
 正業者は勿論家庭用織機も各廠販賣の大量品貯取賤賣す
 送れ就業人員書送來今同各廠販賣の大量品貯取賤賣す
家庭内職生大募集急告
 ●弊會は朝鮮に於ける精美美術品製造業、元祖本業は
 土地遠近老幼男女山間僻地を開き自選取出來資本十個
 以上月收十個以上其製品弊會引受永遠的に來資本十個
 外輸出並に途有希望好職業志願者來資及勤勞三友社へ
 品見就就業案上書早呈部氏親展巡特別店三友社へ
自轉車景品付大賣出急告
 ●弊會自轉車之日出號インバイヤ號空牢

除法を講じたけれども八月三十一日
 までの調べで四十九人から喰ひ殺さ
 れた怪我をしたものまで算へると六
 十八人になる、八月までこれだから
 今年は去年より多くなると違ひない
 、朝鮮人は家畜を獲られたものなど
 は一々届けないから確な数は知れな
 い、多いだらうと思ふ、どうも悲しい
 が仕様が、去年は捕獲

獎圖の意味で一頭について
 五圓宛の懸賞を附したが金の額が少
 いため思はしくなかつたので今年は

炎熱、儼くが如うな夏夏よりも釣魚は
 晩夏も、即ち秋風のそよと吹く頃の方
 が、身置も樂で魚族も多い仁川近海の
 魚釣りは

今が盛りの總張だ、釣魚に
 出るには潮の具合をよく考へて行かう
 ねばならぬ、總て満潮時の大潮には
 魚は釣れない、此頃の様な小潮の時
 が最も好く釣れる五日の日曜には晴

鰻を釣るなら
 小潮時

此の目曜た
から魚が皆岸へ集つて来る
分と釣人が仁川に出掛けるであらう
少し月尾島附近の釣れ模様を紹介し
て見よう此頃最も多く釣れるものけ
る

○天熊
北海に産する熊の一種（熊）
れ込だのが生知られて今は東
小樽外の平山原に少なくなつて阿けてゐる



秋草の盛かり
 此の頃の植物園の美しさ

愛嬌者のお猿さん
 七歳半の子は動物園へ

澄み切つた空の明い気持ちと眼に心
 を奪ひ去るやうな風と、いきさち夏の中
 の涼かき通して疲れてしめたおボラの
 汗を出させぬ程の日

古き時代の沈んだ色に浸つてかゝ
 る動物園の方に思ふれば、熊が夏のま
 るのを喜ぶかの様に活動を開始して
 る彼方イオンは、最早疲れたよ
 う云つた様に身を横に投げてゐる虎を
 照らす豹は何時とも變らぬ鋭猛な眼で
 に見物を射て檻の中を右往左往して
 いる。水鳥の時々思ひ出した様に
 聲が、池の方から聞える。その鶴が真白
 の羽を金細の中に大きく攤げ、岸
 の上の煙瓦建の中に秋から冬へ朝顔
 の実さはこれから来るのに糸は獨居の

實質を吟味せられよ

都味噲の特色

■風味の高尙なること ■美味にして滋養に富めること ■配合の理想的なること ■其他、他品になき特色を具備して居ます。是非一度御試用を願上ます。

■無比自轉車貳臺等
天下第一の爲め、大工場の修繕機五等ゴム輪百個空箱無
露の爲め、大工場の修繕機五等ゴム輪百個空箱無
價格廉此際開業披露出す景品一等

●本店に於ては、御得意様御高底に酬ん爲め本春以來内地に

●懷中鏡のナ

故

維新當時の志士中には前途有爲のものに於て刺客の毒刀に斃れたものは、なほいへ井上侯の如きも大分粗れて時には、

△亂刀を 諍つて九死に一生を得た事も度々あつた殊に侯が京都の遺骸は懷中して居た鏡の爲に危く僅に逃れたが侯が殆んど萬事休んで居たのは元治元年で侯の遺骸にあつたのは

日本では富島を始め京都・日立・松島日光などを見物した上此月の十八日横濱出帆の船で米國に向ふ予定ですが日本へは日露戦争以前に來た事がありませんが今度は久し振りの事とて其時とは餘程違つて居るでせう、朝鮮ですが、朝鮮を通過するのは是れ三度目です、今日も汽車中で感じな事です、が山と云ひ田畑と云ひ都邑と云ひ流石は統治のよく行き届いて居る

望日本風の風光を假らたいと希望します、

此處當地は通過します、

めに危きを免る

上候爵維新當時の遭難
と問ふたので「井上聞多じや」と答
ふるや否や更に一人の男が現はれて
後ろから侯の附足に紐ひ付いて押し

○壯時の非侯（上）明治十年
下明治十年

は僅か三分許で止つた侯は驚いて
起き上らんとすると又一刀を後頭
に受け落し起立して刃を抜て斬り
はんとした際又正面から

△石の頬 から唇へ掛けて深
斬り込まれた其他下腹と脚部にも
數箇所刃の刺を受け最早死べから
ざる處を伺うしてか夢中に身を翻
て闇を幸に逃げ延びて芋畑の中で少
しく正氣付き附近の百姓家へ俯つ
て水を呑み茶を喫せしめて自宅に
送られた侯は苦痛に堪へず家兄五郎



鱈頭は潮の具合で魚族の集まる所を必
 ず得て居るから
 鱈頭(鱈)の集まる所を必
 ず得て居るから
 鱈頭(鱈)の集まる所を必
 ず得て居るから

ない程の楽しさを感ぜしめる、この
 朝鮮の初秋の氣候は勿論
 眞の一日を共に進會へ、本社の家庭博
 覧會の盛んなるまでに、李王家の動物園
 から植物園見物にと、一家打ち揃う
 て出かけるのも無缺ではあるまい
 恰度四日の土曜から五日の日曜頃を
 植物園の方はカンナで真紅の色
 を少し散せしめて、ダリヤ、銀さ
 びし、蘭セニア、天人菊、大葉
 の孔雀草等が今や盛りと咲き揃う
 る、美女櫻、雞頭、筑波模頭

馬君夫婦は
 △御芽出度か
 い帷を窓に下ろされて見物に會はせ
 れ様にしてある、狐猿から鳩やイン
 コの色々についた、鳥だの孔雀も
 樂しいのは今の間と彼の美しい尾を
 支那の屋子を開いた様に浦屋中に掲
 げて居る九尾鳥、鰐鰐は何時行つて
 も人氣の中心で見物のお客を喜し
 てる

九月六日九星
 霜七廿七日庚子
 本館三冊共出此以

味にして經濟的の物に候間何卒御用命の程願上候
電話にて御法交下され候はゞ遠近多少に不拘迅速に御届申上候

諸味噌製造元
京城市岡崎町一

鳴屋本舗

(北米倉町)

鳴屋市内販賣部

電話九〇三番
二三〇四番

本館は明治十三年刊行の地を閉
造り大小他の加じなくし裁奪
遊藝俗にひきあつて胎毒
其他皮膚一切の諸病瘡疥癩金

價
中選分七ふく入 食粉五錢 金拾貳錢
並選分十四ふく入 丸金壹拾貳錢 金拾貳錢
三選分四十ふく入 藥金八拾貳錢 金六拾貳錢
五選分七十ふく入 金壹圓廿圓 金壹圓

支那には二年と三箇月ばかり居ました。博士の談話中につきまし
た。博士の談話中につきましては、
例の帝政論に引き込で「貴君の皇帝政治論は非常に日本でも注意を惹きました」が貴君の論言は多少異意を説き傳へられては居ませんか」と尋ねるも博士は言下に「さうです、餘程誤解されて居ます、從つて誤解も妙からず惹き起して居るやうです、私の原文は英語で書いた

九月二十五日は長州藩王の前で御會議が開かれ侯は口角泡を飛して御會議を完滿なからしめての歸り、一夜の五つ時迄遊従僕の漫言云ふ提約を持て先導して山口城下の田町字新田村の自宅を指してきつゝ來る途中隈井町の袖付橋と云ふ小石橋の手前二丁筋の處に於た時一人の男が突然貴様は誰れかか

倒したすると他の一人の男は矢庭に
太刀を揮つて侯に斬り付けた此の一
撃で侯は一刀兩断になる筈であつた
が倒れる時侯刀が背部に回つて横に

三郎氏に頻に介錯を求めたので家兄
も最早見兼ねて一刀に侯を介錯せん
としたのを母堂が身を以て侯を掩ひ
斷く醫者に見せる事になつた丁度奏
合せて居た美濃の浪士で醫師であつ
た所の檄太郎と云ふ人が母堂の

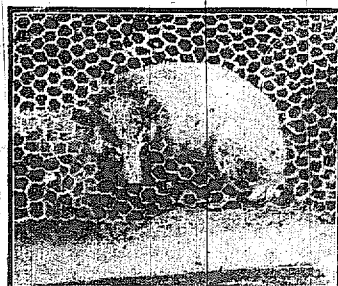
△慈愛に 歎じて直ちに療治を
なしたが幸に九死に一生を得て幸
快したのであつた侯程幸運な人は稀
である侯の面には老年に至る近時の
刀創が名残を止めて居た



人をも空手て歸つたものは一人もない。人々も口を説いて、初めて釣りに来て二日と云ふに餘る大きな鱈を釣つたと云ふ。つたと云ふ連中もある。船頭の話に申すところの釣りの上手下手は釣針に魚が懸つてからの事で、鱈の如く鱗の皮は薄く、魚は素人の人は中途で能く逃すが其機さへ氣を付けられは能く釣れるものである。要は魚の居る所を窺見する

[illegible]

本家 大坂南條東門筋松屋町四
 七ふくや 伊藤 藤兵衛
 京都大丸三番街南七九番
 京城南山下町二丁目電話二二三四番
 内科 婦人科 眼科
 陽子 呼吸器
 淋病 子宮症
 產後 諸熱
 トラホーム
 症 難重
 一元堂醫院
 院主 小山 亨
 晴れ後曇り



□内鮮資本家京城に集まる
大共進會と即賣大會
——土鐵建物がスズ賣れる——
京龍有志數百名の賛同を得て、家、笠、田、市、町、村、の機關として設立したる京龍不動產即賣會は九月開催せらるゝ記念共進會に際し二三觀光團より同會に種々問合ありたる等内鮮資本家が京城に集り來れる赤會社の好機會なるにより引續き同月下旬日本人商業會議所樓上にて開會する由なるが一昨年來低落の極に達したる地價も昨今秩序的に回復しつつあるご持に今一回は全市花の如く裝へる京城及び増師賣行の龍山地方は夫れ／＼活氣立ちたる折附さて來京中の放賣家も此模範的機關により安心して隨處に前途有望なる不動産を買入られらるべしと云へば定めて多數の賣實成立すべく土地建物放賣希望者は此機を過せず補助期日九月十五日迄に京城大平道二の七八

金儲之霸王

(東京市黃町四丁目)電話(六二五三)

日之出護商會

大正式自來水客機大賣出

●弊會發案の大正式タイヤ修繕機械は從來内地等に在
關の弊店機械を大量異なり改良下等及の新式機械に任
正業者は勿論家庭用・幼稚園用・小學校用・新式四輪車
送れ就業年内書送呈年回百名限外の大景品付販賣す

家庭内職生大募集急告

●弊會は朝鮮に於て精製美術ゴム品製造業元祖本業は
土地近老幼男女山間僻地を開き自宅にて出来資十圓
内外月收廿圓以上其製品弊會引受毛取明年中休沐一
外見上欲進望好意志願者來店又函索可也此布
兄兒本就業案内書送呈年北諸氏新裝巡約給三五友社へ

自轉車景品付大賣出急告

●樂商會 自轉車日之出號インバイ號堅牢
無比天下第一品而も價格廉價此際開張景品一等
無比露の爲め左の大景品付大賣出す
自轉車貳臺二百四十個五等ゴム糊百箇空箱無

實質を吟味せられよ

風味の高尙なること、美味にして滋養に富めること、配合の理想的なること。其他、他品になき特色を具備して居ます。是非一度御試用を願上ます。

弊店が御得意様御高底に酬ふ爲め、本春以來内地にて本年味噌製造に従事せし老練の技術者を聘用製造致させ候處、其成績頗る良好の逸品にて殊に赤味噌の如きは一ヶ年以上を經過すし優良品にして美味にして經濟的の物に候間、今御用命の程願上候。電話にて御注文下され候はば、遠近多少に不拘迅速に御届申上候。

京都府岡崎町 鳴屋 本舗

部味噌製造元 諸漬物問屋

(北米倉町) 鳴屋市内販賣部

中價分七ふく入 金拾五錢 金拾貳錢
 壹圓分十四ふく入 金壹拾貳錢 金拾五錢
 三圓分十四ふく入 金壹拾貳錢 金拾五錢
 五圓分七ふく入 金壹拾貳錢 金拾五錢

本家 大坂高津東門前松屋町四
 七ふくや 伊 藤 雄 兵 衛
 阪急六軒九三番地南七郎九番

内科 婦人科 眼科
 腸胃呼吸器
 淋病子宮病
 產後發熱
 トラホーム
 症 諸 難 重

京城南山下町三丁目
 電話一三三四番
 小 山 亨

一元堂醫院

晴れ後曇り

浪上義三郎速記
桃川如燕口寅

●名縣下より禮狀續々寄來す 武

あはれ

ではなす

今スゲなほせ

陸奥一帯に於ては、通稱
士先生が數年間苦心研
究の結果、藥を附けた處
に人知れず、に害なく
不思議にヨクキク藥を
創見致しましたは、是種
々の寶藏で治癒しても
キキキなく一日早く申
も、遂はすく日も早く申
込め、自宅直迄の書物を
三錢切手封入申込、の
人に限り無代郵送す
柏木百二下流町
東京博愛藥院

寝る時に油断すな

いそはね伯父さん、阿父さんがお金
を借りたけれども返してしまつたん
で、けれども阿父さんが酔つて居た
のを忘れてしまつたんで金は返したけ
れども、阿父が先方にあつたばかりに
彼娘に嘘ましく言ふのだと阿母さん
が平常さういつて居るもので、何
を人中で叱り立てる、冤抑、金
を受取つて誰女を返さねへ奴があ
るものか、又金を返して讀文を取返
す世間では中々悪い、子にけり元氣
よい者であるから大人より一層早
に夜半でも然る。だから胸掛

さねへ（回復が何處にある途方ね）
事を吐しやぶる。○「オイ！ 靜かにしなへ（對手は小僕だ、こんなに怒鳴らなくつてもいいや、手前の面がやり兼ねエト。マア黙つて居ろ、其ちや何だなお前のお父さんは元よく暮したんだな。小へい阿父さんは末屋をして居たんで、私は小さい時分ですく知らないけれど、此伯父さんは未掲で私の家に奉公して居たんださうで、阿父さんが相場で損をして間が悪くなつて此伯父さんが高利貸をするやうになつたからお金を貸りたのださうでございます」
「お金に阿父さんがお金は返したんだが今言ふ通り證文を受取らなかつたのが惡かつたんで。『ムム』成程、其ちや阿父郎が元米掲で阿父さんの盛んな此時分に奉公して居たのか、やア／＼（當主様、さう聞い

當を確ささせて置くがよい。從つて百目咳や肺癆に變じたら、此種たの病氣を惹起す。呼吸器を病氣を犯せば急性肺炎容を發し、手常をして適當な服藥をせざるから、小僕に思があらへるから、殊に百目咳は千佳士にスグ應答するものであるから、小の千佳いある家庭に注意せねば

●小兒には小兒専門藥
満ち盛から下の千佳は凡この身體組織が未だ充分完つて居ないから、服藥せざるにしても大入同様の風藥や解熱藥では分量を誤る危険頗る大い。宜敷い供には小僕のために思

●専門藥は「オイ」である。○「オイ」は滿七歳以下の幼兒の風邪、熱、急慢性胃腸炎、肺炎、マラリア熱、肺癆、百日咳、小兒驚風。本劑は小兒科専門の山口醫學士が多年の研究に係る處方を、内

士が調劑されたもので、指頭
工は「オイン」小兒のかせ製薬
中他に類の最も進歩した小兒
幼のある解熱藥である事を知ら
てあらう。「オイン」の特長は苦
みの少ない点に服用し易く、服
能く胃に納まり、些の危険も服
最も安全で効果は迅速であ
る。實際今日の處から各日の
見れば、是は非常備して不得の
實の蛇印アンチピリン丸が最
である事は世既に定評があるか
非「オイン」と共に家庭に旅行
して掛けば寝常に犯された場
の發熱の場合、最も迅速に病
速するアンチピリン丸の價は十
五十錢迄色々ある。

定價は十錢、廿錢、卅錢。
大諸君のかせ藥としては同
濟大藥房、大坂心齋橋丹平支店、大坂野町
丹平分店に到る處の有名藥店に
仕入つてゐる。

迷^めと無^む 彼^かれ是^こ

瘡く瘡効く靈藥神效
 を試し現に烈しき
 神經痛が僅の神
 湯で夢の如く治
 交は頗る難治
 リウマチスヤ
 數年痼疾の症
 氣で悩まし方々試
 症海の時服で漸々快癒
 に堪えざるはス
 カリ快癒し瘡
 さの餘り患部は
 靈藥現在保存す
 の世に供すを是
 るに富例もからず
 不幸にも是等の病に
 人あるに即試し
 の論なく即試し
 湯は家傳の秘方
 も今や全國各處

せんき
りやう
神經痛
子宮
血の道
性性
胃腸
効驗
頭者

本劑は

神痛湯

こんな徴候
膝の腫れ、手足の麻痺、腰の痛み、頭暈、目眩、耳鳴、口乾、舌燥、喉痛、胃弱、食欲不振、消化不良、便秘、小便頻数、夜尿多量、睡眠障害、精神不振、倦怠感、動悸、息切れ、めまい、立ちくらみ、顔面潮熱、手足の冷え、月経不調、閉経、産後諸症、婦人科全般に効果的。
張弓は彼處此處と移り
し何となき意欲なり
張差は食進なき字や
名溜飲を食進なき字や
病は連て血氣の滯上
目眩、頭痛、血氣の滯上
能く頭重有痛、血氣の滯上
に力なく足底冷へ
夜眠られず根柢空しく
賦高ぶる物事に感
易く手足の字に感
初氣リウマチス神
氣血不足の字に感
諸患に悩む人は片時
も神和酒を試みよ
市東區京町二丁目
荒川長太郎
電話東京三九七三
大阪三九五五
口座大坂三九五五

新井大藥房
昭和四年四月二月

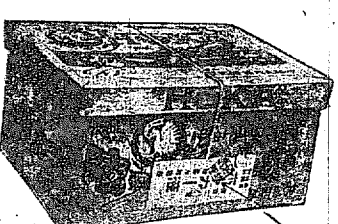
東京、大阪、京城、大連三國吳服店本支店

店、藥店にて賣行日に増し盛ん也。

夏の候に御座候處各立益々御青榮之段奉大買候陳者落古殿賣の國華家立

謹啓盛夏の候に御座候處各位益々御清榮之段奉大賀候陳者弊店發賣の國產家庭化粧料ホー
カ―液の義品質の優良と各位の御深厚なる御同情ににより東洋第一の賣行を示すに至
り申候段誠に難有深く御禮申上候就而本品が國產化粧料として品質最優良にして未曾有の
賣行を示せるを羨み不正の利を得んとする多數の不正商人現はれ候ひしも撓まざる弊
店の努力と業界各位の商業道德上の御援助により殆んどその影を消め申候へど尙粗
惡なる偽造品模造品を販賣して國家産業の發達を阻害し且本品の聲望を失墜せしめ
んと企つるトンビ的商人有之候、右の如き業界のバチルスに對しては弊店は能ふ限
り峻嚴なる手續相運び之が滅盡を期し店り候へ供尙巧妙なる手段を弄し賢明なる各位を
瞞着せんとする不正商人可有之、萬一右偽造品模造品を御取扱の節は現行商標法及現行民
法の各本條により刑事責任を免れず、且現行民法により訴追せらるべきを以て充分御注意
被下度候此弊店出荷のホーカ―液には、その包紙、能書、瓶張、函等凡て堀越嘉太郎名義の
下に鬮の捺印有之候又小瓶一打函(中瓶は半打函)毎に必ず景品券又は報酬券一枚を添
附し報酬券入鬮或は景品券入鬮の消印有之候間御取扱店各位はよく此點に御留意被下
度、無之者は決して御仕入なき様御願申上候、尙偽物販賣の不正商人御發見被遊候節は乍
志御一報相煩し度此段御依頼旁々御警告申上候

木力化粧品本舗
堀越嘉太郎商店

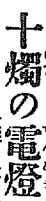


▲東京で一番よく賣れる美

南洋、北米等へ輸出又盛ん也

番衆浪人
筒井年餘齒

「何はさて、これ（知）せ。」
「ナニ、北國より……」と首傾けた
「北國よりと申され、不思議の仁が
見えて廻りまゝである。」
「一體」と佛しう騙り込んで来た
一人の若武士。
「北國よりと申され、不思議の仁が
見えて廻りまゝである。」
「ナニ、北國より……」と首傾けた
「北國よりと申され、不思議の仁が
見えて廻りまゝである。」



「幸願なる若き友よ。君は君の周囲の想への享樂を脱ひ去られ、親兄弟を除き去つて、尚ほ且つ君の生命を讚美し、力説するの勇氣があるといふのか」といふ人がある。私は怎麼んことを取て問ふ人の所謂生命なるものへ解明の方を疑はすにはあるけれども、僕等は生命を物質化して客觀化視し、あまりに抽象的に観過ぎてゐるのである以上、それは決して儼然工術のものではない。自己に對して何時でも儼然拔きの勝手自由になき

つ、其處所に陳列するの舊物を賣りつゝ、あつたが店主が、店員共と僕が前に見せし舊物を陳品だと語り合ひ、僕に聞えよしがしにあれば古本としてけけられし過ぐるなど密語に語つてをる思ふに僕を流轉視したのだらう。無垢の僕達に對し不都合極まる宜しく洋書の士に可なりだ(貧乏書生)▲我々た意の士に相なり、毎夜日の出小學校運動場に於て斯道の研究會を開く筈なり開會の際は、大いに奮つて入會あらん事を、希望(ハリーモント生)▲此所無盡語が非常に流行し居ますが、羨しわ先友人に進められて加入しなまし

と先づいふ。眼を閉ぢて

るべきものでない。生命は即ち「育ち」である。進化であり、創造であり、自己の眞の生活それ自身であり、少なくとも私はけさう思つてゐる。光り熱と力、眞と善と美。それ等は皆悉く私等の生命であらねばならぬ筈だ。とにかく眞はな自己によつて眞實に醗酵されたもの、それが取りも直さず私等の謂ふ生命ではあるまいか。私等はは生命のない所に生活を考へることは能きぬ。

私等は痛切に而も嚴肅に自己の主眼問題をさへ遊戲的に空想的に取り扱はうとする傾きが屢々ある。私等の所謂「絶對の把握」それは私等の眞の生命の把握である。

は初會の衣衣村十郎持參しに其の後より錢が盛んに走らになりました其の儘より歸は止まらずして十圓を泣き疲れて云ふ始末です之れには何か譯がある相ですよ(聞いた女 ▲南昌橋某雜貨店の番頭曰く「私の店は何んでも高い」と皆の御得意様が言つて注文取りに往くと顔が赤くなる程賣めて仕様がありません)ねと云つて居たよは馬鈴薯一貫目を此間買つて見たら五圓餘計取つた(水原らしいすかれー生) ▲南水里の店物を買ひに往くと主人は寢て居てからイカ、アと呼んで居るのは鯨魚の商賣が兄弟で、もう少し丁寧な商賣方を習ひ給へ(堀

[illegible]

クララ煉白粉ミ
クララ乳液並に
クララ水白粉は

奇妙に日焼を防ぐの効あり

海水浴ならば先づ海へお入りになる前クララ煉白粉を能くお顔やお首筋にお塗りになり海から上つてクララ洗粉で能く洗ひ落し
脂粉にクララ乳液をつけて其の跡を拭きクララ水白粉で薄化粧をしてお顔になります。日焼を防ぐに一帯有効で御座います。
——海水浴ばかりでなく凡て夏の外出にはクララ洗粉、御洗顔の後、

日焼を防ぐ

クララ乳液

脱脂綿につけてお顔をお拭きになり其の上クララ煉白粉でお化粧を遊ばし外からお歸りの際にはクララ洗粉で御洗顔の後再びクララ乳液をつけてお置になります。絶対に日焼が防るのみならず能く脂肪が除れて其跡には皮膚の滋養分のみが残ります。すなわち素顔の美を増すにも一帯有効で御座います。

(一) 家庭の倫理

其の第一は家庭に倫理の思想が乏しいことである。家庭の基礎は云々迄でもなく夫婦にある、それで此の夫婦の間に正しく倫理が行はれて居らねばならぬ。若しも此の大體が破れて仕舞へば家庭は空虚なものとなる、さらば夫婦間の倫理とは何を指すか、其は夫婦間には一案の疑惑があつてはならぬ。夫は妻を誹らう妻は夫を欺かう、又た少しも互ひに心を痛むる様な問題を胸に藏さぬと云ふことではなくてはならぬ。即ち只此を信じて云ふことであれば、實に夫婦の大家は茲に立つとの、此の相互の信任と云ふことより、他の凡べの倫理が生じて来るのである。

(三) 家庭の經濟

一家を立て子女の教育に注意するに付ても、茲に最も大切な事は家庭の經濟と云ふことである。家庭の經濟は、凡ての經濟の原則に外れるものではない、即ち入るを計つて出るを制する外に道はない。子女の教育には少からぬ金が入る。子女の實際にも金が入る、随分親類などの金もある様に、知人や部下の者もあるそれに金が入る、即ち出費多額の時代が来る。斯る時代が來てから眞頭しても追いつ

一家を立て子女の教育に

庭の經濟云々云々である。家庭の經濟は、凡ての經濟の原則に外れるものではない、即ち入るを計つて出るを配する外に道はない。子女の教育には少からぬ金も入る。子女の教育を注意せねばならぬ頃になれば、實際にも金が入り、随分親類などの厄分者もある様になる。知人や部下の者もあるてそれに金が入る、即ち數多端の時代が来る。

斯る時代が來てから狼狽して追々

京城の奥様方も却

婦人の趣味とし云へば從來茶・花・茶を
位のものであつて、各相好の色彩を
添へては居たものゝ、ヨリ以上完璧な
婦人の趣味として近世謡曲の流行
り出したことは嬉しいことである。

京城の奥様方も却

□御盛ん
有賀夫人 加藤夫人 大田屋
佐々木夫人 松崎夫人 寺田

□なのは
佐々木夫人 原島夫人 佐々木夫人

に近付勝つて之れ
まで、勢を得て少く
も新らしい種々

かう云ふのです
あると見なければ

京滅でも觀世金春金剛實生喜多

等九流の宗家の流を汲んだ人々が或は教師を聘し、又は機會を明きなどして東京邊にも勞らぬ大繁昌であるのは殖民地に於ける家庭趣味の向上のとも云ふ可きであらう。其の夫人と云へば素人離れのした諸曲の達人で而かも婦人社交界の流行兒である記者は一日京城婦人界の諸曲趣味に就てお話を伺はうとしたれど名前を出されては迷惑すると思つてのお断り

地なら尙だしも殖民地の様なこん

と判然たることであらう。
内地から傳へだした殖民地の様なこゝ
々に殺風景なしかも忙しい質威的な
世知辛い世の中に士地廻にも似もや
らず

▽彼の様に落着いてそし
て長閑な古典的な音楽

が年と共に旺に近づいて来る云ふの
は返すきも不思議ではないせん。
これが單に現代の音楽としての生命
を保ち居るのみか時々刻々這入つて
積古をさせて置か

▽娘の嫁人前
敷の一つも

角三味線取つて俗
も唄つた美さん達
鹿吳くて出来な
位で熱心なお方は
足らず

人界の趨勢が男性に近づく

てに 聖潔清一 秋の草
てに 山南要一 狩 耳

努力して居る時でありますからして
強て不似合な云ふ程でも有りませ
ね。就中曲中に現はれて来る女性の
部分に

□女性の性根の發露を露ひ□
すすれば其の性格描寫□△

の目的が達せられると存じます。又
これによつて趣味の向上を計り品性

いでは孫子の末迄に對する仕舞に於ける位目らの趣味位で飽きやさしりの一つが今となつては馬が仰しやつて居る趣味位で飽きやさしりの一つを洗練することも出来まいしょう、殊に諸二三百番（海毎に多少の相違はありますが）かの裡を流れて居る武士道とか敬神愛國又は人倫五常の道などは因果應報の理を味ひつゝ曲をさては因果應報の理を味ひつゝ曲を聴く時に家庭の趣味婦人の嗜みとして謠曲の右に出づるものはいささか少ない、又一方から考へますれば外出

日用尋常小學校六學年 清水 常秋

▲八月十二日 朝、近衛の家に於てしとくしていやな雨。大體か作文を綴ぐ。今日は何だかすこゝろ空しく彼渡りきの橋に上る略却上がおなじがたいと思はれるので足をもつて、淀屋の西宮交々大邸へ、藤田將軍の五太臣の奥でつかり大倉内山一戸三申、將の大將昇任があつた後松先生某の御旗手にあたる羽合少將が昇任されたのは驚かつた。

▲八月十四日 朝八時三十分の密書で三宅さんがお立になるのでおきさんの代りに見送りに行く。翌日に麻生の方に行つて、五月二日午後六時二十分重光君や中野の重太郎さんまでには御殿の四人馬廻りの人降参に當事に乘つて一日朝七時半年賀参り

日出の學校六年 青木三千枝

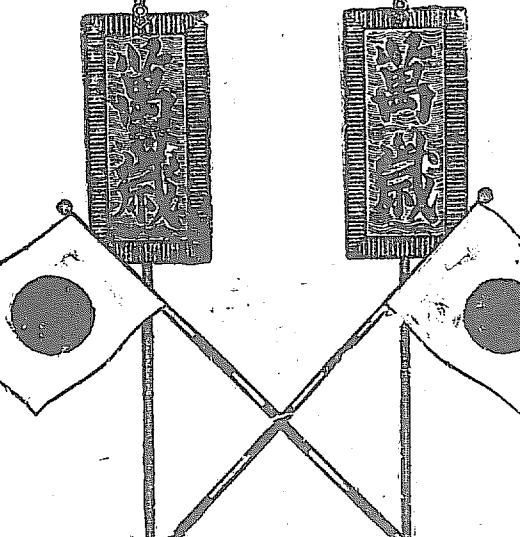
大正四

[illegible]

八月廿八日 日出小學校六學年 莊司順子
 聖徳太子御成道日 是日ハ、イッ少
 乳 乾 鐘

日山小學校學年 莊司 順子
 ▲八月廿八日 起降時今日はいづゆる
 朝は晴れ一日であるほどよいといふ
 午後雨所の 寂寥んといふといふ
 くお休みも少しもなつたて
 たててゐた朝があつて急いで海濱地帯を
 見てい
 ▲八月廿九日 起降午前六時さうくと
 ぎらうのしけを鳴りて 秋熱 風が吹く
 が本町総軍事が開通したふでで行つて
 見た人の見人が浮上たかつてふで京越は一
 番この色は黒色がいといふ


四年八月

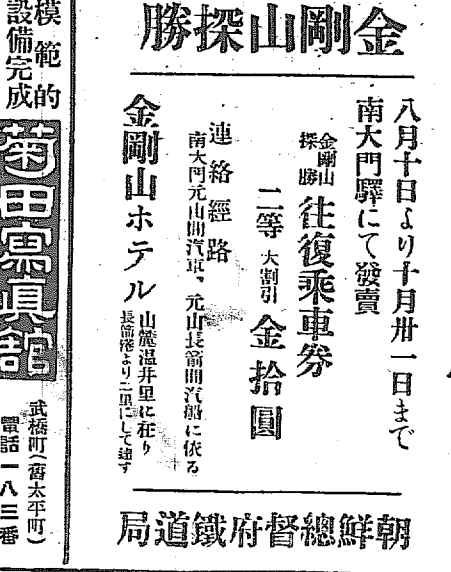


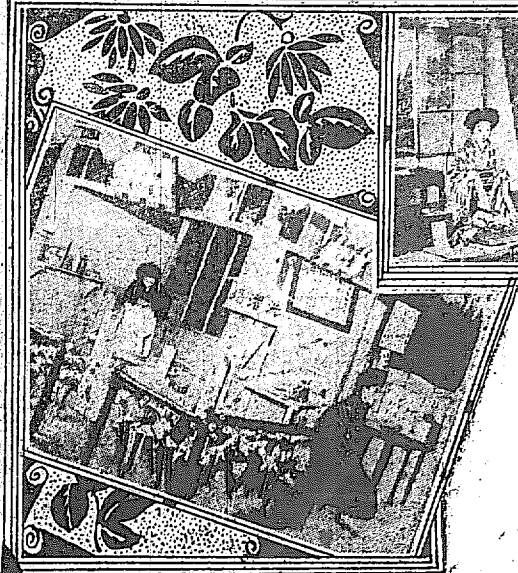
萬歲旂朝鮮一手販賣

京城日報社代理部

◎完全無比の實用經濟
 諸官商銀行會社其他團體にて多
 數御購買の向へは特に割引仕候
 朝鮮總代理店
 京成本町二丁目電 國四五番 極書系域三五六番
 釘本藤次郎本店
 最新インキ式
 水國アアレツト會社製
 眞正十四金ペン先付
 霸王グラス萬年筆


 青島四方町
 十四號地
 津田兄弟屋出張店
 電話七六二番
 振替京越三八九番
 車母乳
 家漆海雜乾罐
 具器產穀物詰
 類類類類類類
 新仁
 レダス
 町川
 清飯座茶 蠅
 酒籠團 入ズ
 荳 花
 文荒履農金什
 具物物具物器
 類類類類類類
 ルベヨシ
 石石木煙綿紙
 炭油炭草 類
 庵澤京東





想感の人夫流名

名流の人夫の感想
名流の人夫の感想は、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

物見つ揃

物見つ揃
物見つ揃は、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

明説眞寫

明説眞寫
明説眞寫は、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

女の昔

女の昔
女の昔は、女性の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、女性の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

家庭問題に凡て

家庭問題に凡て
家庭問題に凡ては、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

新趣味と舊趣味

新趣味と舊趣味
新趣味と舊趣味は、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

岩野泡鳴さん

岩野泡鳴さん
岩野泡鳴さんは、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

實際に非見し

實際に非見し
實際に非見しは、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

女中召使達にも

女中召使達にも
女中召使達にもは、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

支那の骨董

支那の骨董
支那の骨董は、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

十有五年出版風靡る家庭小説

十有五年出版風靡る家庭小説
十有五年出版風靡る家庭小説は、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

版九十三百

版九十三百
版九十三百は、家庭の生活、教育、社会の進歩などについて、それぞれの見解を述べている。特に、家庭の生活については、親の責任、子供の教育、夫婦の協力などについて、詳しく語られている。

優長石版
部
七

不如歸
錢五十四價定
擔負社本 稅郵

十有五年出版風靡る家庭小説
蘆花 德富健次郎著 全一冊 四六判美裝

醫學目録
製作 工
電話 四二四
同安店
場

共同生活の相互關係

積極的社會道徳

近隣に入り込む煤煙、拾得物、出の増加、路傍に釣した草鞋、公園の制札、巡査に損害賠償、

共同生活の相互關係、積極的社會道徳、近隣に入り込む煤煙、拾得物、出の増加、路傍に釣した草鞋、公園の制札、巡査に損害賠償、

家庭消息

御幣の擔ぎ競べ めちや吉書

家庭消息、御幣の擔ぎ競べ めちや吉書、つてしまった。今日こそはと思つて、四季の



家庭消息

家庭消息、御幣の擔ぎ競べ めちや吉書、つてしまった。今日こそはと思つて、四季の

家庭消息、御幣の擔ぎ競べ めちや吉書、つてしまった。今日こそはと思つて、四季の

基石 白石は鉄骨 黒石は鉄骨 黒石は鉄骨 黒石は鉄骨

味 美 補血保全 フエロール

美顔水 垢又ケする譯 都育 宮内省御買上品 東京 桃谷順天館

今朝 生殖器官真空 皮かむり 秘製 秘製 秘製

味 美 補血保全 フエロール 諸適症 滋精